

一関市農業委員会農作業標準賃金審議会 会議録

- 1 会議名 一関市農業委員会農作業標準賃金審議会
- 2 開催日時 令和7年2月3日(月) 午後1時30分から午後3時45分まで
- 3 開催場所 川崎支所 2階 多目的室
- 4 出席者
  - (1) 委員 佐藤多賀幸委員(委員長)、佐藤和威治委員(副委員長)、加藤建一委員、佐藤優委員、千葉順子委員、小野寺勝義委員、菅原公委員、千葉信隆委員、佐藤和弘委員、澁谷喜一委員、菅原隆一委員、菅原裕一委員、鈴木真委員、対馬美佳委員、佐藤成一委員、伊藤勉委員、佐藤真樹委員、鈴木元委員、佐藤雅弘委員
  - (2) 事務局 渡邊晋農業委員会事務局長、浅岡栄嗣農業委員会局長補佐兼企画係長

5 議題

令和7年度一関市農業委員会農作業標準賃金(案)について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

8 佐藤多賀幸委員長挨拶

本日は大変お忙しい中、標準賃金審議会にご出席いただきありがとうございます。米価は例年になく上昇しましたが、先行きが不透明な状況であり、慎重に推移を見極めなければなりません。委員の皆様には慎重審議をいただき、農業の安定と発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

9 審議内容

(1) 令和7年度一関市農業委員会農作業標準賃金(案)について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 私は事務局案が妥当だと思う。

委員 委託している側であるが、受託している方が農業を辞めてしまうと耕作する人がいなくなり、農地が荒れてしまう。農業は他の産業と比べても賃金が低い傾向にあるため、委託する方はそれなりの負担をしなければならないと思う。

安定した農業経営をしていただくためには、もっと上げてもいい。

委員 私は法人の代表であるが、人力作業とオペレーター賃金の差が出ていることが気になっている。作業機械は法人所有のものを使うので機械を操作する人と、人力作業する人とあまりにも差が開きすぎるのもどうかと思っているが、ここ数年は人力作業とオペレーター賃金の差が狭まってきている。

民間でも給料が上がっているの、世の中の流れからすると上げていくべきだと思うが、従業員を抱えているので、あまりにも高くなると法人の経営を成り立たせるのは大変になってくる。上がるのは仕方がないと思うが、一気に上げるのではなく段階的に上げていく方がよい。

委員 上げることに反対ではないが、来年米価が下がったとしても賃金は下がらないと思うので、一気に上げないで段階的に上げていく方がよい。

委員 委託側であるが、農業は慈善事業のようなところがあるので、次の世代が育つような経営をお願いしたい。

事務局 ご意見を聞いていると、もっと上げた方がいいが、一気に上げるよりも段階的に上げていった方がよいという意見が多く、原案が妥当ではないかということであるため、人力作業については前年比6.6%アップし、500円引き上げて7,800円を8,300円に、オペレーター賃金は前年比2.3%アップし、300円引き上げて1万400円を1万700円としたい。

委員長 ただいま事務局から報告があった内容を審議会の意見として決定することとしてよろしいか。

(異議なしの声)

委員 個人の事業者と法人で大規模に経営している所では、肥料の購入にしても法人は大量に購入するため割安に買うことができることから、一律に金額を決めるのは難しいと思う。

委員 昨年度、新規項目でドローンによる防除作業を追加しようとしたときに、受委託の実例価格に1,250円の差があることから、既に行われている受委託の価格に影響がでることが想定されるため、標準額としての新規設定はしないこととした。ラジコンボートの方がドローンよりも安価に購入でき、操作も1人でできるため、今後導入が増えていくことが想定されることから、まだ実例が少ないうちに標準価格として設定して欲しいと思い昨年提案して情報収集した。

新規追加となると賃金表の項目が増えることもあるが、他の自治体ではもっと細かく設定しているところもある。

北海道の事例では1ヘクタール以上の区画で10アール当たり310円、栃木県の事例では10アール当たり1,100円と高いがこれは10アール以上の小区画としての設定とのこと。一関の遊水地では北海道の事例のように3,000円としたかったが、遠慮して1ヘクタール税込みで2,750円とした。

委員 ラジコンボートの耐用年数と価格はいくらか。

委員 農作業機械なので耐用年数は7年、価格は30万円から80万円である。調子が

良ければ1日で20ヘクタールくらい作業ができる。慣れてくると1ヘクタール当たり5分程度で終わる。ボートの操作自体よりも前後の準備作業等に時間がかかる。

委員 そもそも、防除にラジコンヘリがないのはどうしてか。順番としては、ラジコンヘリがあり、次にドローンがあり、そしてラジコンボートの設定となるのではないか。

事務局 これまで追加の要望がなかったので検討はしていない。恐らくそれぞれで価格設定がされているため、標準賃金としての設定の需要が無かったものと思われる。

委員 ドローンについては、農業協同組合では確か1,600円で受託している。

委員 私もドローンを持っており受託を受けているが1,500円でやっている。<sup>ほじょう</sup>圃場の条件などにより作業時間も変わってくるため一概にいくらと決めるのは難しいと思うが、目安があった方がいい。

事務局 宮城県柴田町では、ドローンとボートが同じ項目で1,320円としているが同じように同項目とすることはできるか。

委員 ドローンは資格が欲しいため、同じ項目にはできない。ボートは資格が不要で1人で作業できる。

委員 全国の農業協同組合で受託している事例について教えて欲しい。

委員 今は、資料を持ち合わせていないのでわからない。

事務局 他の作業だと区画の面積によって料金を変えているが、そこまで検討しないまま一関地域の遊水地での事例のみで料金設定を協議してよいか。小さい圃場の場合でも10アール当たり300円でよいのか。

委員 50アール以上で線引きしてはどうか。50アール以下については、双方での協議による。

事務局 ここまでの話では、設定することは必要という意見が多いが、令和7年度の金額をこの場で決めるには情報が少なすぎると思われるので、次年度に向けてさらに情報を集めたうえで提案することとした方がよいのではないか。

委員 それでは、次年度に向けて再度情報収集をしてくるので、次回検討をお願いしたい。

委員 去年から話があった件なので、更に1年延ばしてもよいのか。

委員 去年は、何の情報もない中での提案であった。次回に向けて再度情報収集してくる。

事務局 おくたま農産ではいくらで受託しているのか。

委員 今の話と同じような金額である。

委員 大東地域の中山間地域では、そのような条件がよい圃場ではないため、我々からみれば蚊帳の外である。事務局でも面積のことを気にしていたが、小規模農家で担い手がいなくなり委託していく時にいくらになるのか参考にするための標準賃金で、大規模農家は既にそれぞれで料金を設定してやっているのものでそれでよいのではないか。

委員 農業協同組合で全国的に受託しているケースについて、調べて後で教えて欲しい。

委員長 それでは、区画の基準を含めて金額について整理して次年度で検討することとしてよろしいか。全体的な内容の確認を事務局から願います。

事務局 機械の部については、一律3%上昇させる。新規設定のラジコンボートについては、再度情報収集を行い、次年度で提案する。

また、税抜きと税込みの2種類で表示することについても、特に異議がなかったため、従前どおりとさせていただきます。

委員長 ただいま、事務局から報告があった内容を審議会での意見としてよろしいか。

委員 私はこの会議に初めて参加したが、ドローンについて私も価格設定をして欲しいと思った。ドローンの話はこれ以上ないのか。ラジコンボートよりも一般的だと思う。

事務局 昨年度の協議の中で、既に受委託しているケースが多数あり、価格の差に幅があるため、ここで標準賃金として新規設定すると既に行われている受委託の価格に影響することが懸念されるため、新規で設定しないこととなった。

再度協議の必要があれば、みなさんから情報をいただきながら次年度での協議をお願いしたい。

委員 会議に初めて参加したので、昨年度の状況がわからないため聞いてみた。ドローンも一般的になってきているので意見としての発言とする。

委員長 他にございますか。

委員 機械作業の一番下にある機械運搬だが、運搬費は移動距離等に応じて別途加算するとあり、去年も話題になった部分であるがこれはどういう意味であったか。

事務局 令和5年度までは、「運搬費を別途加算する場合があります。」という記載であったが、加算する場合がありますだと請求しづらいという意見があり、昨年度の協議では何キロまではいくらという議論にもなったが、最終的には「移動距離等に応じて別途加算します。」という表記になった。

委員長 それでは、これまでの内容で決定してよろしいか。

(異議なしの声)

委員長 本日、ご審議いただいた農作業標準賃金を農業委員会、農政専門委員会に諮り、2月25日に開催予定の農業委員会総会において審議し、正式に決定されることになる。

10 担当課 農業委員会事務局